|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校国語科書写用 |

|  |
| --- |
| 「新しい書写」**臨時休業明けの****年間指導計画参考資料****【３年】** |

令和2年（2020年）7月版

※本資料は，令和２年度用「新しい書写」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を，一例として示したものです。地域や学校の状況に応じて，適宜ご活用いただければ幸いです。なお，学習内容を年度内に終えることが困難な場合は，次年度に送る等の対応も考えられます。各学校の状況に応じて，適切にご判断ください。また，次年度に送る場合には担当教員間の引き継ぎにご配慮ください。

東京書籍

「新しい書写 三」（第３学年）年間指導計画

・グレー部分…学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動

＊各単元の「観点別評価規準」は，弊社教育情報サイト 東書Eネットで公開している「令和2年度 年間指導計画作成資料」をご覧ください。

https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/list/keikaku.html#section1

| 単元名 | 単元の目標 | 時数 | 配分 | 学習活動 | 学校の授業以外の場において行うことが考えられる単元・学習活動 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ●集めて使おう，「書写のかぎ」●書写の学び方①毛筆の学習を始めよう・用具のじゅんびとあつかい方・書きやすいしせいと，筆記具の持ち方・用具のかたづけ方・毛筆で書いてみよう表紙裏～p.11◎学習指導要領の内容：〔知識及び技能〕⑶ウ(ウ)【用具】毛筆 | ○１年間の学習を見通し，書写の学習の進め方を理解することができる。○毛筆・硬筆の姿勢や持ち方，用具の置き方・扱い方を理解することができる。○毛筆の筆圧と毛筆の穂先の向きについて理解することができる。 | 2 | 2 | ①１年間の学習の流れを見通す。②書写の学習の進め方を理解する。③毛筆の用具の置き方・扱い方を確認する。④毛筆・硬筆の姿勢・持ち方を確認する。【姿勢・持ち方】⑤用具のかたづけ方を確認する。⑥毛筆でいろいろな線をかき，毛筆の運筆に慣れるとともに，毛筆の学習への関心・意欲を高める。⑦毛筆の筆圧について確認する。⑧毛筆の穂先の向きについて確認する。⑨自己評価・相互評価をする。 |  |
| ②「横画」〈一〉p.12～13◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆 | ○「横画」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 3 | 3 | ①「横画」の書き方の特徴を見つける。【点画の書き方】始筆・送筆・終筆，「横画」②毛筆を使って，①で見つけた書き方を確認する。③毛筆の学習を生かして，「横画」の書き方を硬筆に広げる。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ③「たて画」と「点」〈下〉p.14～15◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆 | ○「縦画」と「点」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 3 | 3 | ①「縦画」と「点」の書き方の特徴を見つける。【点画の書き方】始筆・送筆・終筆，「縦画」，「点」②毛筆を使って，①で見つけた書き方を確認する。③毛筆の学習を生かして，「縦画」と「点」の書き方を硬筆に広げる。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ④「おれ」〈日〉p.16～17◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆 | ○「折れ」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 4 | 4 | ①「折れ」の書き方の特徴を見つける。【点画の書き方】始筆・送筆・終筆，「折れ」②毛筆を使って，①で見つけた書き方を確認する。③毛筆の学習を生かして，「折れ」の書き方を硬筆に広げる。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ⑤筆順のきまりp.18～19◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)【用具】鉛筆（フェルトペン） | ○筆順の原則を理解し，正しく書くことができる。 | 1 | 1 | ①筆順の原則を見つける。【書くときの動き】筆順の決まり②筆順の原則に注意して，筆順に従って書く。③自己評価・相互評価をする。 |  |
| ○生活に広げよう・原こう用紙に書こうp.20◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)【用具】鉛筆ほか★他教科との関連：国語 | ○既習の文字の整え方を理解し，原稿用紙に書く場面で生かすことができる。 | 1 | 0.25 | ①原稿用紙の書き方を確認する。②既習事項を確認する。 | ○②で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で③の学習活動に取り組む。【時間】0.5時間 |
| 0.5 | ③既習事項を生かして，原稿用紙に文章を丁寧に書く。 |
| 0.25 | ④自己評価・相互評価をする。 |
| ◇文字のいずみ・どうやって作るの　筆・和紙・すずり・すみp.21 | ○筆・和紙・すずり・墨の作り方を知ることで，書写学習への興味を高めることができる。 | ― | ― | ①筆・和紙・すずり・墨がどうやって作られているかを知り，書写学習に興味を持つ。 |  |
| ⑥「はらい」〈人〉p.22～23◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆 | ○「左払い」「右払い」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 3 | 3 | ①「左払い」「右払い」の書き方の特徴を見つける。【点画の書き方】始筆・送筆・終筆，「左払い」「右払い」②毛筆を使って，①で見つけた書き方を確認する。③毛筆の学習を生かして，「左払い」「右払い」の書き方を硬筆に広げる。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ⑦「曲がり」と「反り」p.24～25◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆 | ○「曲がり」「反り」の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 4 | 4 | ①「曲がり」「反り」の書き方の特徴を見つける。【点画の書き方】始筆・送筆・終筆，「曲がり」「反り」②毛筆を使って，①で見つけた書き方を確認する。③毛筆の学習を生かして，「曲がり」「反り」の書き方を硬筆に広げる。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ○生活に広げよう・実験したことを記録しようp.26～27◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)【用具】鉛筆・フェルトペンほか★他教科との関連：理科 | ○読みやすい実験記録の書き方と既習の文字の整え方を理解し，実験記録を書く場面で生かすことができる。 | 2 | 0.25 | ①実験記録の書き方を確認する。②既習事項を確認する。 | ○②で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で③の学習活動に取り組む。【時間】1.5時間 |
| 1.5 | ③既習事項を生かして，実験記録を丁寧に書く。 |
| 0.25 | ④自己評価・相互評価をする。 |
| ◇文字のいずみ・名前を書こう（小筆）p.28・書きぞめをしよう〈正月〉〈明るい心〉p.29～31p.53～56◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】毛筆（小筆） | ○小筆の姿勢や持ち方，使い方を理解し，既習事項に気をつけて，自分の名前を丁寧に書くことができる。○既習の文字の整え方を理解し，既習事項を生かして，書き初めを丁寧に書くことができる。 | 3 | 1 | ①小筆の姿勢・持ち方，使い方を確認する。②教科書P28・29の既習事項を確認する。③既習事項に気をつけて，小筆で自分の名前を丁寧に書く。 | ○①②で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，授業以外の場で④の学習活動に取り組む。○教科書紙面上の二次元コード・URLからインターネットを使い，小筆の扱い方の動画や「正月」の運筆動画を閲覧することも考えられる。【時間】1時間 |
| 1 | ④既習事項に気をつけて，書き初めをする。 |
| 1 | ⑤③④で書いた作品を持ち寄り，自己評価・相互評価をする。まとめ書きを行ってもよい。 |
| ⑧ひらがな〈つり〉p.32～33◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆 | ○平仮名の書き方を理解し，正しく書くことができる。 | 3 | 3 | ①平仮名の書き方の特徴を見つける。【点画の書き方】始筆・送筆・終筆，平仮名の「曲がり」②毛筆を使って，①で見つけた書き方を確認する。③毛筆の学習を生かして，平仮名の書き方を硬筆に広げる。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ⑨文字の大きさと字間p.34～35◎学習指導要領の内容：⑶ウ(イ)【用具】鉛筆 | ○漢字と仮名の大きさの関係を理解し，正しく整えて書くことができる。○適切な字間をとって書くことを理解し，正しく整えて書くことができる。 | 1 | 1 | ①漢字と仮名の大きさと字間の整え方を見つける。【配列】漢字と仮名の大きさ，字間②漢字と仮名の大きさと字間の整え方を確認する。③漢字と仮名の大きさと字間の整え方に注意して書く。④自己評価・相互評価をする。 |  |
| ◇文字のいずみ・書いて味わおう（俳句）p.36【用具】鉛筆★他教科との関連：国語 | ○既習事項を生かして，丁寧に書くことができる。 | ― | ― | ①既習事項を生かして，我が国の言語文化に関する文章を丁寧に書く。 |  |
| ○学びを生かそう・三年生のまとめ〈水〉p.37～39◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)(ウ)【用具】毛筆・鉛筆★他教科との関連：国語 | ○自分のめあてを持ち，既習事項を生かして正しく整えて書くことができる。 | 3 | 0.5 | ①１年間の既習事項を振り返る。②既習事項の中から，自分のめあてを立てる。 | ○①で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，自分のめあてを立て，授業以外の場で③の学習活動に取り組む。○教科書紙面上の二次元コード・URLからインターネットを使い，「水」の運筆動画を閲覧することも考えられる。【時間】2時間 |
| 2 | ③自分の立てためあてに気をつけて，毛筆や硬筆で好きな言葉や文章を書く。 |
| 0.5 | ④自己評価・相互評価をする。 |
| ○学びを生かそう・はがきで伝えようp.40～41◎学習指導要領の内容：⑶ウ(ア)(イ)【用具】鉛筆・フェルトペンほか★他教科との関連：国語 | ○読みやすいはがきの書き方と既習事項を理解して，はがきを書く場面で生かすことができる。 | 2 | 0.5 | ①はがきの書き方を確認する。②既習事項を確認する。 | ○教科書の例を参考にしながら書きたはがきについて考え，②で確認した既習の「書写のかぎ」を生かして，③の学習活動に取り組む。【時間】1時間 |
| 1 | ③既習事項を生かして，手紙やはがきを丁寧に書く。 |
| 0.5 | ④自己評価・相互評価をする。 |